

ほけんだより 3かっ

治りかけは無理をさせず しっかり治しましょう

治りかけによく休むことが大切です

子どもは病気のかかり始めに急激に体調が悪くても、治り始めるとスッと回復することがよくあります。

「良くなってきたよ」と思った時こそ、休ませることが大切です。治りかけに無理をすると症状がぶり返したり、体力が十分にない為、他の感染症にかかりやすくなる可能性が高くなります。

ゆくり休ませた方が休みが短く済む場合が多いです。

何度もかかる病気はたくさんあります

感染症の中には一度かかれば二度とかからないものも多いですが、繰り返しかかる感染症もたくさんあります。

治りかけで体力がまだ十分に回復していない状態で無理をすると再感染などのリスクも高くなってしまいます。

繰り返しかかるものある病気...

新型コロナウイルス、溶連菌感染症、手足口病、ヘルパンギーナ、など

しっかりと治して元気に登園しましょう

「お薬は正しく飲みましょう」 抗菌薬などは決められた時間や量を守って飲みましょう
溶連菌感染症では合併症を防ぐ効果もあります

「家で元気で油断しない」 園での生活は家で過ごすよりも体力を使います
普段通りの園生活が送れるまでに回復したかどうかを見てください

3月3日は耳の日です

子どもの耳は中耳炎を起しやすい開閉状態となっており、耳の中の炎症という点から耳の穴からの菌の侵入と考えられますが、のどや鼻に菌が入ることが原因となり、風邪がきっかけで発症する場合があります。

「予防・ケア」

中耳炎を防ぐには風邪の症状に対するケアが大切です。風邪が鼻にきていると感じた時には早期に受診することで中耳炎を防ぐことができ、軽い症状で終わらせることが期待できます。

鼻水には中耳炎を引き起こす菌が混ざっていることが多いので、鼻をかみ、耳鼻科で吸ってもらって鼻水を外に出しましょう

今年度も早退や受診のお願い等、保護者の方の負担にしているところもあるかと思っております。

ご理解、ご協力いただきありがとうございます

ごさまで

